

歴博だより

Museum of EHIME History and Culture's News

特別展

広重と北斎の 東海道五十三次と浮世絵名品展 — 歌麿・写楽から幕末バラエティーまで — 平成21年9月15日[火]—11月3日[火]

開館時間/午前9時～午後5時30分(入館は閉館の30分前まで)
休館日/9月24日(木)、28日(月)、10月6日(火)、10月13日(火)、19日(月)、26日(月)
主催/愛媛県歴史文化博物館 後援/愛媛県市町教育委員会連合会・愛媛新聞社・NHK松山放送局・南海放送・テレビ愛媛・あいテレビ・愛媛朝日テレビ・愛媛CATV・FM愛媛
観覧料/大人(高校生以上)500円(400円) 小中学生・65歳以上250円(200円)
*()内は20名以上の団体料金 *他にお得な常設・特別展共通券もあります。



歌川広重《東海道五拾三次之内 日本橋》(保永堂版)

庶民文化が華開いた江戸時代。浮世絵は歌舞伎役者やファッション、街道沿いの宿場、各地の名所など、時代の流行を伝達する情報メディアとして人々に受け入れられました。そこに見られる画面構成や鮮やかな色彩表現は斬新で、現在でも日本独自の芸術として高く評価されています。

本展では歌川広重の「東海道五拾三次」(保永堂版)、「五十三次名所図会」(縦絵東海道)と葛飾北斎の「東海道五十三次」(小判)を、大正時代の現地の写真も添えて一堂に展示します。日本橋から京都までの東海道をめぐる夢の競演をお楽しみください。その他にも、喜多川歌麿とその流れをくむ絵師たちの美人画、東洲斎写楽の役者絵、北斎の「富嶽三十六景」など、浮世絵の黄金時代ともいえる18世紀後半の名品をはじめ、幕末の開港地横浜の風俗を描いた「横浜絵」、伝奇小説や怪談をテーマにした「妖怪絵」、ジグソーパズルのようなユーモアあふれる「寄せ絵」など、バラエティに富む浮世絵227点を紹介します。

旅情、人間模様、洒落とユーモアの遊び心など、江戸時代の生き生きとした情緒あふれる浮世絵の世界を、この機会にぜひご堪能ください。



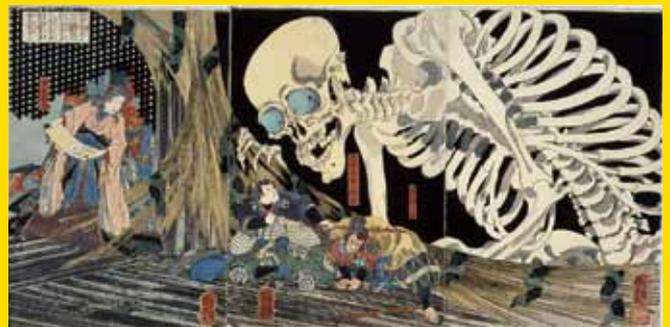
葛飾北斎《富嶽三十六景 尾州不二見原》



歌川豊国《三浦荒男之助 市川團十郎》



歌川芳藤《子猫あつまって大猫となる》(部分)



歌川国芳《相馬の古内裏 滝夜叉姫》

関連イベント

- 浮世絵摺りを体験してみよう!
日時/会期中の土・日・祝日 13:00～16:00 参加費/100円程度
- 東海道五十三次すごろくであそぼう!
日時/9月19日[土]～23日[水]、10月4日[日]、11月3日[火・祝] 14:00～ 参加費/無料
- 出張歌麿館 浮世絵アイロンプリント
日時/会期中の土・日・祝日 13:00～16:00 参加費/500円～

関連講座

- 歴史・文書講座「江戸時代の旅」
日時/9月27日[日] 13:30～ 講師/井上淳(当館学芸員)
- 歴史・文書講座「楽しい浮世絵鑑賞入門」
日時/10月24日[土] 13:30～ 講師/土居聡明(愛媛県教育委員会生涯学習課)
※申込方法は本紙4ページをご確認ください。

歴史
文書

いしづちがさん 石鎚画賛

年代 明治7(1874)年頃
サイズ 縦109.8cm 横49.9cm
所蔵 個人蔵・当館保管

四国最高峰、石鎚山の御山開きの様子を描いています。高くそびえ立つ石鎚山には、豆粒のように小さい人間がたくさん取り付いています。石鎚登拝のクライマックスともいえる一の鎖、二の鎖、三の鎖の急斜面を登る人々。「ナンマイダァー」と唱えながら鎖をかける人々の声が聞こえてきそうです。

本資料は愛媛の代表的な地誌『愛媛面影』を生み出した名コンビ^{なから}、半井梧菴と林湧光が手がけています。明治7年7月8日、石鎚山上に安置する神像が讃岐の高松で鑄造され、石岡神社神官の玉井忠寛がそれを奉遷しました。その時に諸国から集まった信者が熱狂して、拍手礼拝するとともに、雨が降るごとく賽銭を投じました。この話を聞いた湧光が想像して描き上げた、梧菴の賛には記しています。

本資料には多くの信者が神像を支持する姿が描かれていますが、石鎚神社の祠官となった梧菴はそこに石鎚山の理想的な姿を見出していたのかもしれませんが。



(専門学芸員 井上淳)

歴史
文書

「下鍵山村落付近井谷馬場」

井谷正命の写真帳から

この写真は、日吉村(現鬼北町)で初代村長をつとめた井谷正命の『写真帖』の中からの一枚です。明治二二(一八八九)年に日吉村が誕生しました。翌年村長に選ばれた正命は、まずは、道作りと教育の普及を始めました。この写真は、村づくりの最初の一枚です。

鍵山川の向こう岸に土手のように見える道路が、明治三五(一九〇二)年に着工した愛媛県日吉―野村線の改修工事の様子です。道路に立つ人影の左側が正命です。

橋を架ける時に予算不足のため工事が一時中断されました。数年後、工事は再開されましたが、正命は全財産を投げ打って奔走しました。その間、この場所が人々から「井谷馬場」と呼ばれたと写真の端に記しています。

写真の左上に見える建物は日吉尋常小学校です。その背後の山際の建物が正命の自宅です。正命は、自宅を教室にして、自ら妻とともに教鞭をとり、村内に高等小学校ができるまで、私立日吉実業学校を運営しました。

次に、正命は、下鍵山村落の中



心街に幸田町を造り始めました。大正時代に入ると、町並みが整い、日吉村は林業を中心として栄えました。

正命は、日吉村の村づくりのために全生涯を捧げました。それらの記録を写真と合わせて、スケッチを描いて残しました。日吉村の誕生を物語る歴史の証言として、生

(主任学芸員 安永純子)

年代 明治37(1904)年
所蔵 個人蔵・当館保管
サイズ 縦27.2cm 横18.5cm

* 「石鎚画賛」は、テーマ展「描かれた伊予の旅路と風景」に展示します。
* 「下鍵山村落付近井谷馬場」は、研究紀要第14号に掲載されています。

常設展示室の展示替え紹介

【考古展示室】

テーマ：「木の考古学—遺跡からのメッセージ—」

平成 21 年 11 月 14 日(土)～ 22 年 1 月 24 日(日)

木が古くから様々な道具として広く利用され、私たちのくらしに深く関わってきたことについて、県内の遺跡から出土している木製品を通して分かりやすく紹介します。

【文書展示室】

テーマ：「県内最古級！名匠二宮家の図面展」

平成 21 年 11 月 14 日(土)～ 22 年 1 月 31 日(日)

代々吉田藩の大工町組棟梁をつとめた二宮家の寺社図面(仏木寺大日堂・龍澤寺虹梁など)約 50 点と、名匠二宮長八の吉田藩陣屋蛙又(吉田藩紋の意匠)2 点などを紹介します。

テーマ展

「描かれた伊予の旅路と風景」

平成 21 年 9 月 15 日(火)～ 11 月 3 日(火)

当館で収蔵する、絵巻物・浮世絵・画帳・観光用鳥瞰図といった絵画資料の中から、瀬戸内海の航路や伊予の名所・風物などを描いた資料約 50 点を集めて展示します。また、この機会に中世成立の絵巻物の模本なども合わせて紹介します。

会場：考古展示室・文書展示室
観覧料：常設展示観覧料が必要です。



歌川広重 六十余州名所図会 伊豫西條

歴史文化講座

歴史・文書講座

講座番号②「南予の庄屋文書を読む」(全 2 回)

日時：① 8 月 9 日(日) 13:30～15:00
② 9 月 13 日(日) 13:30～15:00

講師：安永純子(当館学芸員)

講座番号③「近代における城郭の公園化 - 城山公園と道後公園 -」

日時：8 月 29 日(土) 13:30～15:00

講師：平井誠(当館学芸員)

講座番号④「名誉館長歴史講座」(全 2 回)

①「天平写経の美 - 完成された楷書 -」

日時：9 月 17 日(木) 13:30～15:00

②「三筆と三跡 - 唐風書法から和風書法へ -」

日時：11 月 19 日(木) 13:30～15:00

講師：山本信吉(当館名誉館長)

講座番号⑤「大洲妖怪異談を読む」(全 2 回)

日時：① 9 月 19 日(土) 13:30～15:00

② 10 月 17 日(土) 13:30～15:00

講師：柚山俊夫(愛媛県教育委員会生涯学習課教育専門員)

講座番号⑥特別展関連「江戸時代の旅」

日時：9 月 27 日(日) 13:30～15:00

講師：井上淳(当館学芸員)

講座番号⑦特別展関連「楽しい浮世絵鑑賞入門」

日時：10 月 24 日(土) 13:30～15:00

講師：土居聡朋(愛媛県教育委員会生涯学習課専門学芸員)

講座番号⑧「信長・秀吉・家康の統一戦争と南予」

日時：11 月 21 日(土) 13:30～15:00

講師：山内治朋(当館学芸員)

講座番号⑨「伊達宗城の積極的開国策」

日時：3 月 6 日(土) 13:30～15:00

講師：藤田正(当館学芸課長)

講座番号⑩特別展関連「ポーラ・コレクションの見どころ」

日時：2 月 16 日(火) 10:30～12:00

講師：村田孝子(ポーラ文化研究所主任研究員)

講座番号⑪特別展関連「江戸美人のおしゃれ術」

日時：4 月 4 日(日) 13:30～15:00

講師：村田孝子(ポーラ文化研究所主任研究員)

民俗講座

講座番号②特別展関連「歌舞伎の歴史」

日時：8 月 22 日(土) 13:30～15:00

講師：神楽岡幼子(愛媛大学准教授)

講座番号③「鯨塚から見える日本人の心」

日時：1 月 23 日(土) 13:30～15:00

講師：宮脇和人(愛媛大学大学院生)

講座番号④「仏像の見方・調べ方」

日時：2 月 13 日(土) 13:30～15:00

講師：大本敬久(当館学芸員)

考古講座

講座番号③「ここまでわかった上黒岩岩陰遺跡の最新研究」

日時：2 月 20 日(土) 13:30～15:00

講師：兵頭勲(愛媛県教育委員会文化財保護課主任学芸員)

講座番号④「古代伊予の木製品」

日時：3 月 13 日(土) 13:30～15:00

講師：亀井英希(当館学芸員)

体験講座

講座番号⑦特別展関連「大三島美術館をたずねる」

日時：10 月 31 日(土) 8:00～18:00

参加費：4,000 円程度(交通費等込)

講座番号⑧テーマ展関連

「ミニ絵巻物を作ってみよう - 百鬼夜行絵巻 -」

日時：11 月 1 日(日) 13:30～15:30

講師：安藤久美子(当館学芸員) / 材料費 500 円程度

講座番号⑨「和風づくり」

日時：11 月 15 日(日) 13:30～15:30

講師：都築健司(和風作り職人) / 材料費 600 円程度

講座番号⑩「しめ飾りづくり」

日時：12 月 6 日(日) 13:30～15:30

講師：三多正(宇和町創作館) / 材料費 200 円程度

【各講座の申込方法】

希望する講座番号及び講座名とご住所・お名前・年齢・電話番号など必要事項を記入し、開講日の 1 週間前までにはがきなどでお申し込みください。
※定員に満たない場合は、申込締切後にも受け付けます。応募者多数の場合は抽選となりますのであらかじめご了承ください。

お問い合わせ：企画普及グループ・歴史文化講座係
TEL 0894-62-6222 / FAX 0894-62-6161

パソコン講座参加者募集中!!

当館では NPO 法人 e - えひめとの協働事業としてパソコン講習会を毎週金曜日に開講しています。パソコン利用の基本から応用まで学べます。この機会にぜひご参加ください。カリキュラム・日程等の詳細については、下記までお問い合わせ下さい。TEL 0894-62-6222

特別展イベント

9月19日(土)～23日(水)

「東海道五十三次すごろくであそぼう！」

東海道五十三次をすごろく形式で遊びながら学んでみよう。

■時間/14:00～ ■参加費/無料

「浮世絵摺りを体験してみよう！」

順番に版を摺って、浮世絵摺りに挑戦してみよう。

■時間/13:00～16:00 ■参加費/100円程度

「れきはくクイズラリー」

クイズを解いて「れきはく」博士になろう。

■時間/9:00～17:30(受付は17:00まで)

■参加費/有料(展示観覧料が必要です)

「出張！歌麿館 浮世絵のアイロンプリントをしてみよう！」

浮世絵プリントの体験

■時間/13:00～16:00 ■参加費/500円～

ミュージアム・ショップが
リニューアルオープンしました！



昔懐かしい駄菓子やプロマイド…。懐かしい風景に会話も弾み、まるでタイムスリップしたかのようです。大人も子供も楽しめる場所となっていますので、是非お越しくださいませ。

「むかしのおはなし★かみしばい」
のお知らせ



体験学習室では、毎月第2・4日曜日、午後2時から「むかしのおはなし★かみしばい」を開催しています。今日は何のおはなしが聞けるかな？みなさん、体験学習室へ遊びにきてくださいね。

10/1

友の会よりお知らせ

より友の会会費が半額になります。

友の会は、愛媛の歴史や民俗について学び親しむ人たちの集まりです。10月1日より入会いただく場合、会費が半額になります。常設展が無料になる他、この秋の特別展も無料でご観覧いただけます。ぜひ、この機会にご入会ください。

お問い合わせ先：友の会事務局 0894-62-6222

開館記念無料開放日のご案内

11月14(土)・15日(日)

当館は11月で開館15年目を迎えます。11月14・15日の2日間は開館を記念し、常設展・特別展が無料でご観覧いただけます。ぜひ、博物館にお越しください。

れきはくのあしあと

平成21年5月2日～6日の5日間、「G.W. こどもの日イベント」を開催しました。5日間で合計6,811人の方が来館されました。ご来館頂き、ありがとうございました。



ご利用案内

■開館時間 9:00～17:30(入館は17:00まで)

※夏休み期間中は18:30まで開館(入館は18:00まで)

■休館日 月曜日(下記カレンダーをご参照ください)

■観覧料

	大人(高校生以上)	65歳以上	小・中学生
常設展	500円(400円)	250円(200円)	無料
特別展	500円(400円)	250円(200円)	250円(200円)
常設・特別展共通	700円(560円)	350円(280円)	250円(200円)

※()内は20名以上の団体料金

Museum Calendar 2009.8-12 休館日 ★開館記念日

8月							9月							10月							11月							12月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
						1			1	2	3	4	5	4	5	6	7	8	9	10	1	2	3	4	5	6	7			1	2	3	4	5
2	3	4	5	6	7	8	6	7	8	9	10	11	12	11	12	13	14	15	16	17	8	9	10	11	12	13	★14	6	7	8	9	10	11	12
9	10	11	12	13	14	15	13	14	15	16	17	18	19	18	19	20	21	22	23	24	★16	17	18	19	20	21	13	14	15	16	17	18	19	
16	17	18	19	20	21	22	20	21	22	23	24	25	26	18	19	20	21	22	23	24	22	23	24	25	26	27	28	20	21	22	23	24	25	26
23 24 30	24 31	25	26	27	28	29	27	28	29	30	25	26	27	28	29	30	31	29	30	27	28	29	30	31	27	28	29	30	31					

